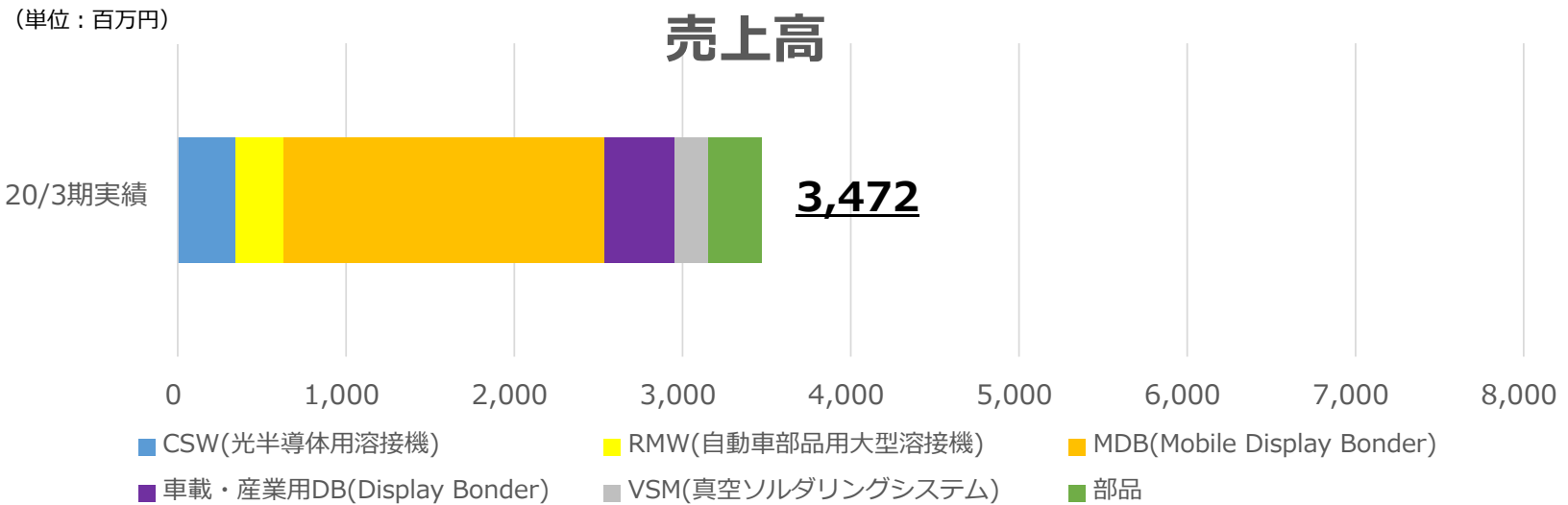


# メカトロニクス事業



## 20/3期 売上高概況、重点施策進捗

- ▶ 前期比 55.5%減
- ▶ MDB：スマホ市場鈍化で設備投資伸びず
- ▶ VSM：国内、台湾に拡販シトも売上伸長至らず
- ▶ 中国生産機種拡大及び現地立上体制構築が生産性向上に寄与

## 21/3期 売上高計画

未定

## 21/3期 重点施策計画

- ▶ 売上高底上げ：拡販強化（DB、VSM、CSW）
- ▶ 競争力アップ：高付加価値化・生産性の向上
- ▶ 将来の種：新規市場の開拓

# メカトロニクス事業 20/3期重点施策進捗詳細



## 【生産性向上への取組み】

### ➤ 中国における生産対応機種種の拡大

18/3期・19/3期：DB(ディスプレイ貼合)全自動機、MDB(スマートディスプレイ貼合)改造  
20/3期：VSM(真空リタリングシステム)、CSW(光半導体用溶接機)

### ➤ 海外(中国・その他)における部品調達・部品製作の推進

海外部品、製作メーカー調査、海外製品採用における評価体制構築  
装置構成部品、ユニットの一部海外製品を採用

### ➤ 中国現地立上体制の構築・対応力の強化

18/3期・19/3期：MDB(スマートディスプレイ貼合)改造、DB(ディスプレイ貼合)全自動機  
20/3期：CSW(光半導体用溶接機)

ディスプレイ貼合機：NRシリーズ



真空リタリングシステム：MP2



光半導体用溶接機：CS-3.2



#### 中国現地立上体制構築

- 0-カエンジニア・期間工の採用、雇用ノウハウ
- 教育研修(中国・日本)
- 実経験の積み重ねによる0-カリダーの育成

#### 効果・期待・実績

- 日本からのエンジニア派遣削減、現地スタッフ主導での現地立上
- 他地域(欧米・アジア諸国等)へリリース振分・事業展開拡大
- リスクハッジ(海外渡航不可時の対応等)

**更なる取組みにより生産性向上を図ります**

# メカトロニクス事業 21/3期重点施策計画詳細



## 【販売強化への取組み：注力市場と市場動向】

### ➤ VSM(真空リガリングシステム)

パワー半導体市場に注力（日本・台湾・東南アジア）

電気自動車をはじめ、次世代車の需要増加に伴う自動車用途に期待  
市場別専用機の構築により販売強化を図る

### ➤ DB(ディスプレイ貼合)

車載用途市場に注力(日本・中国・欧米・他)

2023年の世界市場は2億198万枚(2018年比21.3%増)に成長予測\*

意匠性重視が強まる市場ニーズへの提案力にて拡販を図る

\*出典：2019-2020年版 車載用ディスプレイ市場の現状と将来展望(矢野経済研究所)

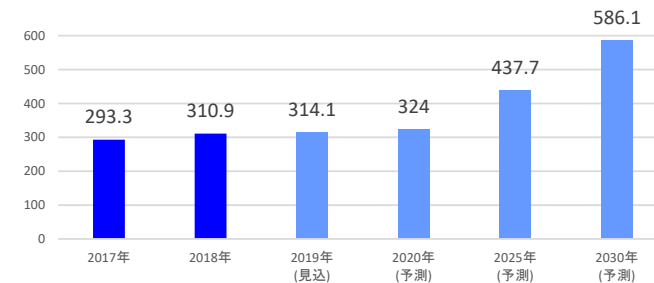
### ➤ CSW(光半導体用溶接機)

光通信市場に注力(中国・台湾)

5Gインフラの急拡大が進む『中国市場』を最大ターゲットと位置付ける

車載用半導体の世界市場規模推移・予測

メカ出荷金額ベース(単位:億ドル)

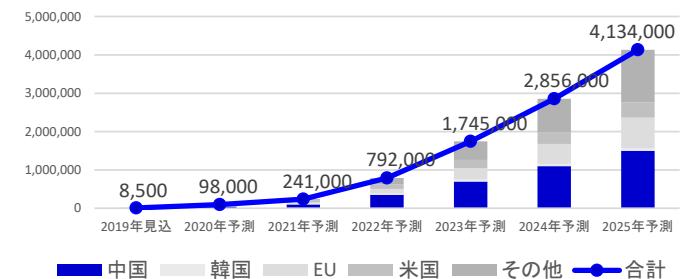


注1. 各年の新車販売台数をもとに、搭載された車載用半導体のメカ出荷金額ベースで算出した  
注2. 2019年は見込値、2020年以降は予測値

出展：2019年車載用半導体マーケット分析(矢野経済研究所)

5G(第五世代移動通信システム)主要国サービス契約数予測

5Gサービス契約数ベース(単位:千契約)



注1. 5Gサービス契約数ベース

注2. 2019年は見込値、2020年以降は予測値

出展：2019年版5G移動体サービス市場展望(矢野経済研究所)

**経験と実績、生産性向上への取組みにより、注力市場への販売強化を図ります**